

観葉植物栽培における土壌改良資材
及び循環扇設置による
安定生産技術マニュアル

平成31年3月

さいたまの花普及促進協議会

1 トリコデルマ菌資材の効果的な使い方

トリコデルマ菌は土壌中で根の生育を活性化するため、根の弱い植物に施用すると効果的です。トリコデソイルは花きではシクラメンでの効果が高いことがフランスの試験で明らかになっています。栄養繁殖で親株の力やさし穂の部位で発根能力に差が出やすいもの、種子繁殖でも個体差が大きくなりやすい品目に利用すると効果的です。

(1) ハイドランジア



ハイドランジアの苗は一般的に発根能力は高く苗も揃う。



品種によっては苗の揃いの悪いものもある。



トリコデソイルを発根後に灌注することで苗が揃う。

(2) ポインセチア・プリンセチア

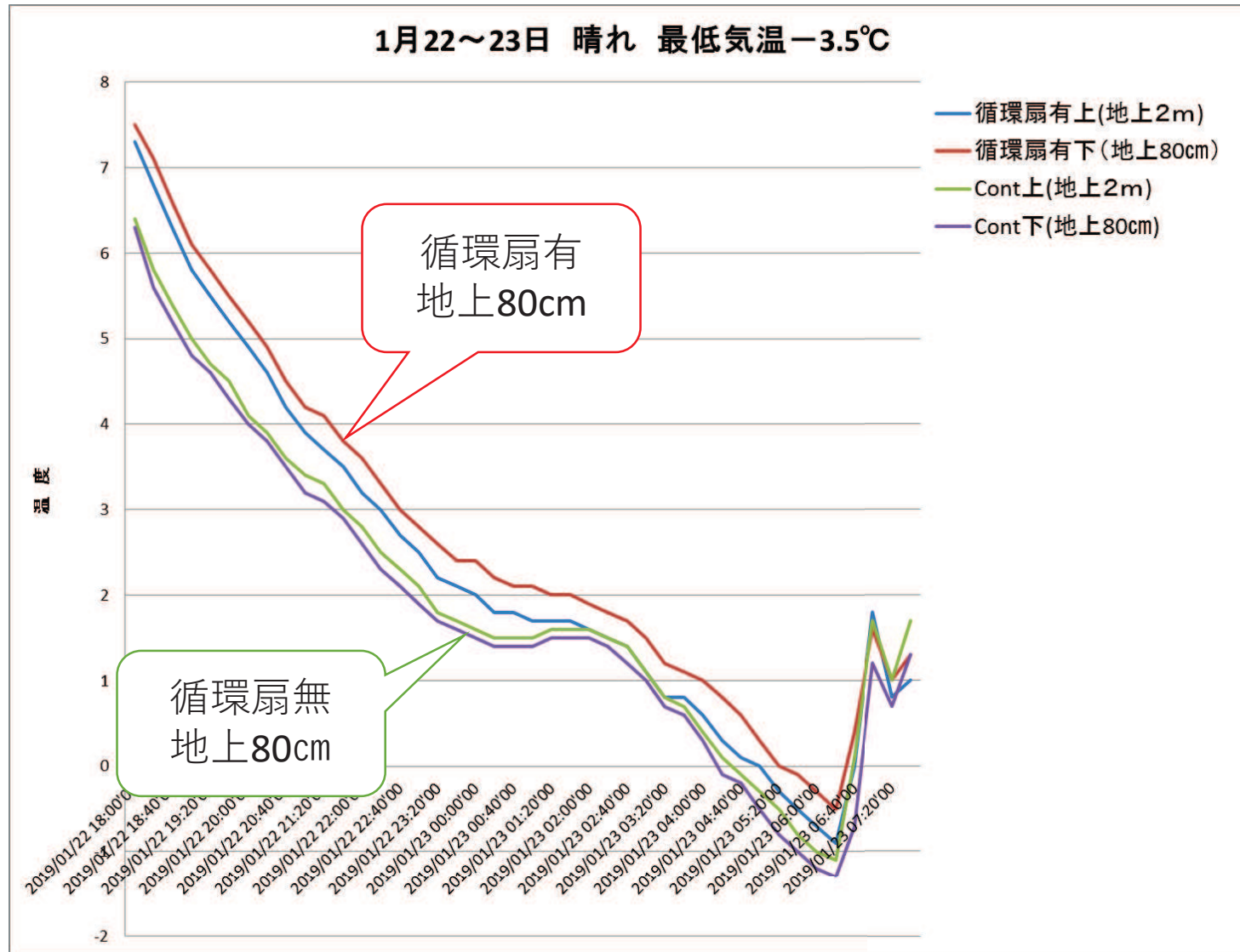
品種別サイアチア数	ポインセチア		プリンセチア			
	クラッカー	ローザ	ルージュ	ホットピンク	ピンクホワイト	チェリーレッド
トリコデソイル灌注区	10.5	12.33	13.89	12.43	15.33	9
無処理区	9.85	10.75	12.86	14	15	11.2



ポインセチアは高温期に根の病害に侵されやすい植物です。夏前にトリコデソイル（2000倍）を灌注することでサイアチア数を増やし、株張りを大きくすることが期待できます。

2 無加温パイプハウスでの循環扇の効果

(1) 放射冷却による低温を回避します



無加温パイプハウス（二重被覆）の室内温度を循環扇の有無により比較した。

ほとんどの気象条件下で循環扇を回したパイプハウスの室温が高く推移した。

特に、グラフに示したような、晴天時の夜間（午後18時～午前7時）では、循環扇の設置のない区では設置した区より気温が0.8℃低く推移した。

(2) 冬季の生理障害回避 (edemaの回避)

	草丈	葉枚数	分枝数	edema数
	(平均)cm	(平均)枚	(合計)	(合計)
循環扇区	15.79	9.48	99	117
対照区	16.88	8.87	55	84
循環扇/対照	0.935	1.07	1.8	1.39

ユーカリ ポポラス 耕種概要

7月播種

11月3.5寸鉢上げ

2月17日まで17度加温温室

2月18日無加温パイプハウスに移す

1日おきに上部より灌水

写真 ユーカリの生理障害(edema)

平成30年3月撮影



結果

循環扇を回すことによって、葉枚数、分枝数は増加した。

また分枝数あたりのedema発生数は減少した。

edema発生数をさらに減らすには灌水量と灌水間隔の見直しが必要と思われる。

ユーカリ類のedemaは実生苗を80%の湿度の中に5日間置くと発生すると言われている。(Pinkard, E., W. Gill, and C. hammed. 2006. Physiology and anatomy of lenticel-like structures on leaves of Eucalyptus nitens and Eucalyptus globulus seedlings. Tree Physiol. 26:989-999.)

実施機関 さいたまの花普及促進協議会

協力機関等 埼玉県本庄農林振興センター

本マニュアルは農林水産省「国産花きイノベーション推進事業」で実施した実証事業により作成しました。

発行者 さいたまの花普及促進協議会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9埼玉県農林会館

TEL：048-711-7166